

東海理化、川崎鶴見臨港バスと「2025 バステクフォーラム」に出展

～バス乗客安全システムで、安心・安全な未来の地域公共交通の実現を目指す～

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之タ 裕美）と川崎鶴見臨港バス株式会社（本社：神奈川県川崎市 取締役社長：野村 正人、以下「川崎鶴見臨港バス」）は、5 月 23 日（金）に神戸市総合運動公園で開催される「2025 バステクフォーラム」に出展します。

当社と川崎鶴見臨港バスは、2024 年より路線バスにおける安全支援システムの実用化に向け共同検証を実施しており、本展示会では AI を活用した『バス乗客安全システム』をご紹介します。

＜展示内容：バス乗客安全システム＞

- ・車内に複数設置したカメラで取得した画像を AI で解析することで、乗客の怪我に繋がりがやすい姿勢を検出し、運転士への通知 および 乗客への案内・注意喚起を行う。
- ・カメラで捉えた車内画像に加えて、車両情報（乗降口開閉、車速など）も組合せることで、状況に応じて AI が適切な判断を実施し、違和感や不快感のない案内・注意喚起を行う。
- ・ロボットによる乗客への案内・注意喚起を行う。
（ロボットが対象の乗客の方を向いて話しかける事で、乗客の行動変容を促す）

【出展概要】

「2025 バステクフォーラム」

- ・開催日時：2025 年 5 月 23 日(金) 10:00～16:30
- ・開催場所：神戸総合運動公園 P18 臨時駐車場
(神戸市須磨区緑台 5 丁目)
- ・展示会公式サイト：<http://www.portepub.co.jp/tour.htm>

【展示車両】



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社東海理化 総務部広報室：0587-95-5211